

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 ディーエムソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6549 URL http://www.dm-s.co.jp
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）花矢 卓司
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員管理本部長 （氏名）吉田 慎一郎 TEL 0422-57-3921
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	5,274	3.7	100	△36.2	106	△32.1	72	△30.7
2025年3月期第1四半期	5,086	8.9	157	7.1	157	5.4	104	5.4

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 72百万円（△30.7％） 2025年3月期第1四半期 104百万円（5.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	26.07	25.23
2025年3月期第1四半期	37.26	36.13

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	8,228	3,324	39.8
2025年3月期	8,189	3,347	40.3

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 3,274百万円 2025年3月期 3,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		15.00	—	15.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	10,936	9.3	316	2.9	316	3.6	201	△0.7	72.61
通期	22,830	7.9	800	17.8	798	16.5	515	4.0	185.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	2,849,000株	2025年3月期	2,849,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	89,966株	2025年3月期	68,066株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	2,767,557株	2025年3月期1Q	2,795,687株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用情勢や所得環境の改善、インバウンド需要により緩やかな回復基調にあった一方で、依然として続くウクライナや中東の情勢不安や世界的な原材料及びエネルギー価格の高騰や物価上昇により、先行きの不透明な状況で推移しました。

このような事業環境の中、当社グループはダイレクトマーケティング実施企業に対して、マーケティングの各局面において最適なソリューションを提供するべく努めてまいりました。また、積極的な人材採用を行い、営業力及び提供サービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は5,274,980千円（前年同期比3.7%増）、営業利益は100,350千円（前年同期比36.2%減）、経常利益は106,855千円（前年同期比32.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は72,149千円（前年同期比30.7%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

i) ダイレクトメール事業

ダイレクトメール事業におきましては、充実した営業体制を基盤に、企画制作からデザイン、印刷、封入・封緘作業を一括して手がけるワンストップサービスの提供、郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開いたしました。また、発送代行サービスのオンライン受注を強化することで、販路の拡大を図るとともに、従業員による対面業務を削減することで業務効率及び生産性の向上に努めました。EC通販市場の拡大に伴い需要が増加している宅配便等の小口貨物を取扱うフルフィルメントサービスについては、6月の八王子第6フルフィルメントセンターの開設等の先行投資を行い、サービス提供体制の強化に努めました。

この結果、新規顧客の開拓及び既存顧客からの受注が堅調に推移し、売上高は4,641,469千円（前年同期比4.0%増）、セグメント利益は237,756千円（前年同期比7.0%減）となりました。

ii) インターネット事業

インターネット事業におきましては、コンサルティング型マーケティングサービスの提供を強化するとともに、これまで培ったWebサイトのコンテンツ制作ノウハウを活かしたパーティカルメディアサービス（注）にも引き続き注力いたしました。

この結果、売上高は273,365千円（前年同期比5.0%減）、セグメント利益は32,571千円（前年同期比36.9%減）となりました。

（注）パーティカルメディアサービスとは、特定の分野に特化した自社Webサイトの運営を通じて、利用者へ有益な情報や各種サービスを提供するサービスです。

iii) アパレル事業

アパレル事業におきましては、子会社である株式会社ピアトランスポート（以下、ピアトランスポート）の販売体制の整備充実を図るとともに別注商品の企画にも注力しました。また、引き続き為替やインフレ等の外部環境の影響を受けました。

この結果、売上高は360,145千円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は17,695千円（前年同期比56.3%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は8,228,200千円となり前連結会計年度末に比べ、38,812千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加71,463千円、投資その他の資産その他の増加55,233千円があったことに対して、受取手形及び売掛金の減少101,019千円があったことによるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は4,903,937千円となり前連結会計年度末に比べ、62,166千円増加しました。これは主に、流動負債その他の増加531,328千円があったことに対して、買掛金の減少208,125千円、未払法人税等の減少96,124千円、賞与引当金の減少60,896千円及び長期借入金の減少102,480千円があったことによるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,324,263千円となり前連結会計年度末に比べ、23,353千円減少しました。これは主に利益剰余金の増加8,188千円があったことに対して、自己株式の増加31,693千円があったことによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,361,152	1,432,615
受取手形及び売掛金	2,401,453	2,300,434
棚卸資産	361,083	364,097
その他	219,254	256,252
貸倒引当金	△1,558	△1,493
流動資産合計	4,341,384	4,351,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	887,530	875,836
土地	1,584,384	1,584,384
その他	769,043	748,265
有形固定資産合計	3,240,958	3,208,486
無形固定資産		
のれん	142,706	136,760
その他	51,950	64,167
無形固定資産合計	194,656	200,928
投資その他の資産		
その他	415,238	470,471
貸倒引当金	△2,850	△3,591
投資その他の資産合計	412,388	466,880
固定資産合計	3,848,003	3,876,294
資産合計	8,189,387	8,228,200
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,773,307	1,565,182
1年内返済予定の長期借入金	422,970	413,235
未払法人税等	140,061	43,937
賞与引当金	132,480	71,583
その他	472,458	1,003,786
流動負債合計	2,941,278	3,097,725
固定負債		
長期借入金	1,886,580	1,784,100
その他	13,912	22,112
固定負債合計	1,900,492	1,806,212
負債合計	4,841,770	4,903,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	376,677	376,677
資本剰余金	302,844	302,844
利益剰余金	2,708,847	2,717,035
自己株式	△90,270	△121,963
株主資本合計	3,298,097	3,274,592
新株予約権	49,520	49,671
純資産合計	3,347,617	3,324,263
負債純資産合計	8,189,387	8,228,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,086,487	5,274,980
売上原価	4,265,802	4,446,707
売上総利益	820,685	828,273
販売費及び一般管理費	663,346	727,923
営業利益	157,338	100,350
営業外収益		
受取利息	0	6
受取配当金	2	1
持分法による投資利益	1,802	9,221
為替差益	1,434	1,044
その他	1,085	1,769
営業外収益合計	4,325	12,042
営業外費用		
支払利息	4,330	4,931
支払手数料	0	45
その他	66	560
営業外費用合計	4,396	5,537
経常利益	157,267	106,855
税金等調整前四半期純利益	157,267	106,855
法人税、住民税及び事業税	53,088	34,706
四半期純利益	104,179	72,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	104,179	72,149

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	104,179	72,149
四半期包括利益	104,179	72,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,179	72,149
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	38,999千円	74,187千円
のれんの償却額	5,946	5,946

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトメ ール事業	インターネッ ト事業	アパレル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,464,866	287,619	334,001	5,086,487	—	5,086,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,464,866	287,619	334,001	5,086,487	—	5,086,487
セグメント利益	255,597	51,624	11,322	318,543	△161,205	157,338

(注) 1. セグメント利益の調整額△161,205千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ダイレクトメ ール事業	インターネッ ト事業	アパレル事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,641,469	273,365	360,145	5,274,980	—	5,274,980
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,159	1,159	△1,159	—
計	4,641,469	273,365	361,304	5,276,140	△1,159	5,274,980
セグメント利益	237,756	32,571	17,695	288,023	△187,672	100,350

(注) 1. セグメント利益の調整額△187,672千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。